

会議録

会議の名称	令和４年度 第１回館林市「日本遺産」推進協議会
開催日時	令和４年６月２１日(火) 午後１時２７分～午後２時２２分
議長氏名	館林市文化会館２階第４会議室
出席者氏名	出席者名簿のとおり(出席１０名、欠席３名)
事務局氏名	出席者名簿のとおり(出席１１名)
会議内容	１ 開会 ２ 会長挨拶 ３ 自己紹介 ４ 議事 (１) 議案第１号 令和３年度事業報告について (２) 議案第２号 令和３年度収支決算報告について (３) 議案第３号 会長の選任(案)について (４) 議案第４号 副会長・監事の選任(案)について (５) 議案第５号 館林市「日本遺産」推進協議会規約の改正について ５ その他 ６ 閉会
会議資料	・ 次第 ・ 出席者名簿 ・ 議案書 ・ 令和３年度成果物一式
備 考	報道関係者３名(館林ケーブルテレビ、(株)上毛新聞社、群馬テレビ(株))

	次第	発言者	発言内容
1	開会	事務局長(教育次長)	
2	会長挨拶	会長(市長)	
3	自己紹介	各委員(出席者名簿順)	
4	議事	議長(会長)	議事進行
	(1)議案第1号 令和3年度事業報告について	事務局(2部会) ■全体概要説明 (文化振興課長) ■歴史文化部会 (文化振興課課長) ■観光産業部会 (商工課長) (つつじのまち観光課長)	令和3年度実施事業の全体説明。 歴史文化部会担当事業(全13事業)について説明。※一部観光産業部会事業含む。 観光産業部会担当事業(全4事業)について説明。 ※商工課、つつじのまち観光課各2事業。
	委員からの質問	委員①	①事業報告(歴史文化部会_3 官学連携「SATO-NUMA」事業_(1)東京電機大学との連携事業)において、地元ボランティア団体代表とあるが具体的にどこの団体か？ ②事業報告(歴史文化部会_5 館林市「日本遺産」展示会開催事業)において⑦茂林寺イベントとあるが具体的にこういったイベントなのか？
	質問に対する回答	事務局	①地元ボランティア団体として2団体に協力をいただいた。 ①館林文化財ボランティアの会 ②館林観光ボランティアガイドの会 ②2021.12.12(日)に開催された茂林寺巡回線運行開始記念イベント。茂林寺巡回線のマイクロバスには、「里沼」ラッピングが施され、その一環として「里沼」PRブースを出展した。つつじのまち観光課の発表によると、当日イベント来場者は500名とのこと。
	委員からの質問	委員②	①事業報告(歴史文化部会_8 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業)において、多言語化(英・繁・簡・タイ・スペイン)対応をしているが、なぜその地域なのか？
	質問に対する回答	事務局	①推進協議会の事業は、原則地域活性化計画に基づき実施している。地域活性化計画において、東武線の拠点である浅草と日光に訪れる外国人をターゲット国として分析・設定している。このターゲット国は、台湾・(フランス)・タイ・スペイン・アメリカからの誘客に狙いを定めるものであり、これに応じた多言語化を優先して取り組んだ。 (※フランスに関しては、あまり海外旅行をしない国民性があり、国内に低湿地帯も多いことからターゲットから除いている)
	【審議】議案第1号について、委員全員承認。		

	(2)議案第 2 号 令和 3 年度収支決算報告について (監査報告含む)	事務局 (文化振興課長) 監査報告 事務局 (文化振興課長)	令和 3 年度収支決算報告について説明。 監査報告書について事務局にて代読。
	【審議】議案第 2 号について、委員全員承認。		
	(3)議案第 3 号 会長の選任(案)について	委員③	「引続き市長に会長をお願いしたい」とのご発言。
	【審議】議案第 3 号について、多田市長が引続き会長として委員全員承認。		
	(4)議案第 4 号 副会長・監事の選任(案)について	多田会長	副会長:河本榮一氏 (館林つつじサポーターズ倶楽部会長) 副会長:川島健治氏 (館林市教育委員会教育長) 監事:荒井清範氏 (邑楽館林農業協同組合代表理事副組合長) 監事:前澤和之氏 (群馬県地域文化研究協議会会長)
	【審議】議案第 4 号について、委員全員承認。		
	(5)議案第 5 号 館林市「日本遺産」推進協議会規約の改正について	事務局 (文化振興課長)	改正理由、改正内容((役員)「補欠役員の任期」、(会議)「予算・決算の決議」、「総会の開催」に関する条項明記)について説明。
	【審議】議案第 5 号について、委員全員承認。		
5	その他		
	委員からの質問	委員④	①議案第 5 号で今回新たに「総会」の条項を追記した規約改正が承認されたが、通常の場合、総会において年度計画や予算等についても審議する必要があるかと思う。今回は昨年度の事業・決算報告のみであったが、今年度の事業計画や予算はどうなっているか？今後の総会の扱いも含めた予定を教えてほしい。 ②令和元～3 年度で一旦文化庁からの補助金が終了したが、今後市補助金以外で財源を確保していく方策はあるか？
	質問に対する回答	事務局	①現状では毎年度 2 回、協議会を開催している。1 回目の会議(6～8 月頃)で前年度の事業・収支決算報告をご審議いただいている。 また、次年度予算等の都合もあり、2 回目の会議(2～3 月頃)において、次年度の事業計画や予算をご審議いただいている。R4 年度の事業計画や予算については、R4 年 3 月に開催した R3 第 2 回館林市「日本遺産」推進協議会(書面開催)において、全委員よりご承認いただいているところ。 通常、総会では前年度の事業・収支決算報告及び新年度事業計画(案)、予算(案)を

			ご審議いただくが、市の予算等の兼ね合いもあり、現状として前述した内容の協議会開催となっている。状況を見極めながら対応していきたい。 ②自走を細かく分析すると、活動者の「自走」と資金面での「自走」がある。活動者の「自走」とは、行政の資金投入はあるものの、組織運営や事業実施自体はプレイヤーを統括できる人材が担っている状態であり、こちらについては過去3年間の事業実施により少しずつだが効果が出始めている。資金面の「自走」においては、ふるさと納税や企業版ふるさと納税など一般の方や事業者の方による浄財を活用し事業展開を図っていく。
	委員からの質問	委員⑤	①5つの沼の管理について、どこが行っているのか？ ②茂林寺沼の自然を守る会とはどういう団体か？ ③市は近年、環境系コンサルA社による茂林寺沼湿原調査を止めてしまったがその理由は何か？
	質問に対する回答	事務局	①5つの沼の管理について、すべてを行政が管理しているわけではない。 ①茂林寺沼:県・市(文化振興課・緑のまち推進課・つつじのまち観光課)、一部茂林寺等 ②多々良沼:県・市(緑のまち推進課・道路河川課)等 ③城沼:県・市(緑のまち推進課・道路河川課・つつじのまち観光課)等 ④蛇沼:市(道路河川課・学校教育課)等 ⑤近藤沼:市(道路河川課・緑のまち推進課)、近藤沼土地改良区等 ②もともと茂林寺前住職が立ちあげた団体。同会は、県立大泉高校植物バイオ研究部や市内企業などとも連携しながら湿原内の草刈り、ゴミ拾いなどを行っている。 ③環境系コンサルA社による調査は一旦終了したものの、もともと環境系コンサルA社時代に茂林寺沼の調査を実施していた職員(現在は環境系コンサルA社から独立して環境系コンサルB社にて勤務)が、引続き調査を継続している。
6	閉会	事務局長(教育次長)	